

社内のDX化を推進 ネットデジタル事業部及び開発スタッフ一同に局長賞 業務の省力化、労務環境の改善、経費削減に貢献

2026年1月5日（月）

ネットデジタル事業部では、2024年秋以降、約1年にわたり、社会情報部、報道部、コンテンツ事業部からの要請に応える形で社内のDX化に取り組み、①番組コンテンツの打ち込み作業自動化や縦型動画の自動作成（社会情報部）②広報リリース資料のダッシュボード化や警察メモのデータベース化（報道部）③番組使用楽曲の報告シートの自動化やhod等の配信番組の売上集計システムの開発（コンテンツ事業部）を独自に行い、各部局の業務効率化、及び、経費削減につなげています。これらのシステムの開発により一部の業務委託契約をやめ経費の圧縮になったほか、これまで手作業で膨大な時間をかけていた業務を大幅に省力化し、労務環境の効率化や改善に大きく貢献した功績を称え、表彰します。

ネットデジタル事業部・木原光太郎さんコメント

「この度は一連のDX開発を評価いただき誠にありがとうございます。現場の皆様と対話を重ね、内製開発の機動力とAI技術を融合させることでニーズを迅速に形にすることができました。日々進化するAI技術は解決策の幅を飛躍的に広げ、我々にとってかつてない追い風となっています。今後もこの強みを活かし、より一層貢献してまいります。業務上の困り事やアイデアがあればぜひお気軽にお声がけください。」



左から二階堂裕介さん、西崎隼さん、木原光太郎さん、後藤雄也コンテンツビジネス局長